

自治体とNGOの連携のための勉強会を開催します！

テーマ 今求められる自治体とNGOのパートナーシップのあり方とは

6月3日(木) 15:00-17:00 場所 1階会議室

NGO関係者と自治体関係者が出会い、意見交換をし、双方にとってメリットのある自治体とNGOの連携のかたちを探るための、勉強会を開催します。(平成22年度新規事業)

(対象) NGO・自治体関係者

(プログラム)

1 開会あいさつ

2 自己紹介

3 基調講演 講師 (財)日本国際交流センター 毛受 敏弘氏

「自治体とNGOの連携とは ～欧州の自治体の事例から～」

4 質疑応答 ブレインストーミング 「NGO・自治体の双方にとってメリットのある連携とは？」

5 閉会のあいさつ

クレア職員のオブザーバー参加も歓迎です！
ご関心ある方はプラザまでご連絡ください。

第一回の勉強会では、講師に元兵庫県庁の職員で、現在(財)日本国際交流センターのチーフプログラムオフィサーを務めておられる毛受氏を迎え、欧州の自治体とNGOの連携事例をご紹介いただき、自治体が考える国際協力活動とはどのような取り組みか、自治体はNGOと連携する上で何を求めているのかを学んでいきます。

そして、後半のブレインストーミングの場ではNGO関係者・自治体関係者が一緒に意見を出し合い、NGO・自治体の双方にとってメリットのある連携のかたちを考えます。



4月 アドバイザー派遣 報告

《4月のアドバイザー派遣件数》

自治体国際協力アドバイザー派遣

1件(派遣先: 鯖江市国際交流協会)、

多文化共生のためのアドバイザー派遣

3件(派遣先: 草津市国際交流協会、南砺市友好交流協会、清瀬国際交流協会)

(写真) 講演をする羽賀友信氏(南砺市)

《派遣先のからの報告》

多文化共生アドバイザー派遣を利用した南砺市友好協会からは、「わかっているつもりでも、互いに誤解していることがあり、文化の違いを認識しなければより重大な問題を起こしてしまうことを改めて知らされた。本年度から本格的に取り組む日本語教室においても、今回の教えを十分に活かしていきたい」との感想が寄せられました。